

平成20年度第2回定例会

日 時： 平成20年7月31日（木）午前10時～

場 所： 図書館本館講座室

---

新任期の図書館協議会定例会

(事務局) (館長挨拶、部長より辞令交付、部長挨拶)

(各委員の紹介、挨拶)

(職員の紹介、挨拶)

(事務局) (会長、副会長の選出)

(会長) 委員の皆さんのお知恵を拝借し、市民の中心にある図書館にしていくよう、我々に課された大きな仕事だと思う。

(事務局) (図書館法、多摩市条例の図書館協議会について資料の説明)

(事務局) (平成19年度の利用状況の説明)

今期の図書館協議会については、多摩市立図書館が抱えている課題のひとつである中央図書館機能の整備について、検討をお願いすると思う。

(会長) 今まで市役所の隣にあった本館が、こちらに移転したことにより、地域的にみても人口にみてもその利便性をいかした、新しい時代に立った図書館像のあり方は重要なことである。市内だけでなく市外にも、多摩市はこのような図書館行政になっているんだということが打ち出せるようにしていけたらいいかと思う。

(委員) この本館は暫定10年と聞いているが、10年後については全く白紙なのか。そのあと継続して使うこともありうるのか。

(事務局) 学校跡地については、恒久活用方針に基づき、活用していくことになっている。今は図書館としてこの建物を暫定活用していることになっている。10年後は確定しているわけではないが、多摩センター地区についての図書館配置は大前提である。

(委員) 10年後の使い方は、市の方針としては全く白紙であるということか。

(事務局) 民間活用という方針はあるが、どう使うかは未定である。

(会長) 利用状況について、メールアドレスの登録は増えているのか。

(事務局) 徐々に増えている。

(会長) 登録者が多いのか、少ないのか見えにくい。

(事務局) パスワード登録者は、全体の3割程度である。パスワード登録者の4割弱程度が、メールアドレスの登録者である。割合はあまり変化がない。

(会長) 便利すぎて本を引き取りにいくだけになり、図書館内部を見ないで過ごすというマイナス面もあると思うが。

(事務局) うまく使って頂いているという印象がある。閲覧席も増えたので一冊

一冊手にとる方もいる。

(会長) 自分が目的としている本以外に、図書館にたまたま行ってみて触発されるという良さもある。

(事務局) インターネットでの蔵書検索は、閉架書庫の目に触れない資料も動くことになる。

(会長) 文庫連絡協議会での活動の情報はいかがか。

(副会長) 文庫連だよりの発行、月2回の定例会、毎年2月に文庫展を開催している。図書館の子ども読書まつりにも企画参加している。

(会長) 比較的小学校の低学年、中学年は本を手取るが、高学年、中学校となるとだんだん離れていく。親がもっと大きな大木を育てるにはどうしたらいいかという考え方に立ち、本とは無限の可能性を持ったものである。うまくバトンタッチしながら次の世代に移行し、よりよい図書館、個人では読書人生を行われるのではないかと思う。

(委員) たま広報には、図書館の記事が少なく、何も載っていないこともありアピールが弱い。

(事務局) たま広報は月2回発行であるが、定例的に隔月の1回、図書館のコラムをいただいて掲載している。隔月の1回なので、図書館の基本的な周知事項にとどまっている。豊かな情報発信はこれからしていかなければいけないと思っている。

(会長) 図書館はひとりでもお客様を増やすということを、念頭に置かないといけない。ぜひ提案しつづけていただきたい。

(事務局) 今後も図書館の記事を1面で掲載していくことも検討していきたい。

(副会長) 図書館のやまばと通信について、少し改善されたが今後も工夫していただきたい。やまばと通信の広報などの挟み込みを考えて欲しい。またお知らせだけではない記事が載るといいと思う。

学校図書館について、司書がいる様子が伝わっていくといいなと思います、前向きに市民に発信するような形でもっとPRできる場がないか。

(委員) 簡単にできるのは、学校のホームページと、学校公開で学校の図書館と国語の授業を関連付けたものを行うことだが、市民の方がきてくれるかどうかは難しい。親の啓発も必要であり、図書館においてよといったものがあったら配布していくが、これを見て図書館に行く親子は、学校では1割いないと思う。市民が学校に目を向け、学校を見ることからしていただきたい。そういったところを訴えていくことと、図書との関係を進めていくことが必要だ。図書館の働きかけと市民の方にわかっていただくことをリンクさせていくことが必要であると思う。

(会長) では、今日の定例会を終了する。お疲れ様でした。